

| | | |
|--|------|---|
| 道路行政のインフラマネジメントシステム Infrastructure Management System for Road Administration | | 継続 |
| 対象国の条件： | | |
| 研修コース番号： 201984788-J002 | | |
| 案件番号： 201984788 | | |
| 主分野課題： 運輸交通/運輸交通行政 | | |
| 副分野課題： | | |
| 使用言語： 英語 | | |
| 案件概要 | | |
| <p>本研修は道路整備が遅れ、早急に本格的な推進体制を確立させようとしている国や地方政府を対象にしている。そのため、この研修では効率的かつ着実に進めるための道路整備、国と地方の連携、行政と民間の協働やインフラの品質確保などに必要なマネジメントシステムを学び、インハウスエンジニアにとって実践的な研修内容にしている。</p> <p>また、開発途上国がこれまで懸案にしてきた環境影響や交通渋滞、急激な都市化、自然災害などの道路行政の課題を幅広く取り上げ、これらの総合的なマネジメント力を向上させる。</p> | | |
| 目標／成果 | | 対象組織／人材 |
| 【案件目標】 研修生は、道路行政の全般を学び、道路整備を着実に推進するためのシステムを習得し、インハウスエンジニアとしての責任感を醸成させ、業務の遂行能力を向上させる。 | | 【対象組織】 道路行政に関連する中央若しくは地方政府機関 |
| 【成果】 1. 「何故、“北海道”という地方政府は道路などのインフラ整備を短期間で達成できたか。」 研修生は道路行政のシステムという面からその理由を探り、考え方をまとめる。 2. 「何故、北海道は、厳しい自然条件下で均一で良質なインフラの品質を確保できたのか。」 研修生は道路技術の面からその理由を学び、考え方や手法をまとめる。 3. 「道路などのインフラの品質を確保するために、国や地方政府の道路管理にとって必要なマネジメントシステムとは何か。」 研修生はその理由を追及し、考え方をまとめる。 4. これまでの道路行政の懸案であった「環境、都市化や防災の課題をどのように解決してきたか。」 研修生はその着眼点と解決の方向性を学び、考え方や手法をまとめる。 5. 研修生は、「自国や所属する組織が懸案としている行政課題」について、専門家のアドバイスを受けながら、問題点の分析や解決の方向性、その対策を整理し、レポートにまとめる。 | | 【対象人材】 1. 中央・地方政府機関において道路行政に携わっている中堅の土木技術者で将来、指導的な立場になる者 2. 道路開発分野を含む実務経験が5年以上 3. 大学において土木に関する課程を修め、またこれと同等の資格を有する者 |
| 内 容 | | |
| 【事前活動】 研修生は自国あるいは所属組織が抱える道路行政の課題についてカントリーレポートを作成する。 | | 本邦研修期間 |
| 【本邦研修】 1. インフラ整備の法制度、事業計画、事業遂行システム、事業評価方式、監査システム等に関する講義。 2. 道路の計画から設計、施工、維持管理に至るインフラ整備の進め方や投資のプライオリティ、技術基準、インフラの安全性、設計審査手法、工事仕様、維持管理等に関する講義や現場研修。 3. 工事調達、調査設計や用地処理などの発注前業務、品質確保のための工事管理手法、監督・検査のチェックポイントや工事中の安全管理等に関する講義と現場研修。 4. 道路行政に関わる環境対策の考え方や交通渋滞、都市の再開発などの都市化対策、防災対策などの講義と現場研修。 5. 研修生は自国や職場で懸案になっている道路行政の課題をテーマにして解決の方向性や対策を検討する。帰国後のアクションプランを作成。（演習、ディスカッション、現場研修） | | 担当課題部 |
| 【事後活動】 研修生はアクションプランを所属組織内で共有し、実現を図る。プランの実施状況を報告する。 | | JICA北海道（札幌） |
| 関係省庁 | | |
| 実施年度 | | 2018～2020 |
| 主要協力機関 | 北海道庁 | |
| 特記事項及びホームページ | | |